

THE UNIVERSITY OF SHIMANE

令和2年度
公立大学法人島根県立大学

地域連携活動報告書

(浜田キャンパス版)

2020.4 ▶ 2021.3



公立大学法人 島根県立大学

目次

令和2年度 公立大学法人島根県立大学

地域連携推進センター浜田キャンパス運営会議 名簿2

1 学生の地域貢献活動

1) 学生ボランティア活動（災害ボランティア以外）3

2 地域に関する教育・研究活動

1) しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会5

3 地域から／地域への応援・情報発信

1) 公開講座6

2) 浜田市立三隅中学校へのオンライン版 大学生活紹介7

3) 浜田市旭中学校島根県立大学訪問8

4) 浜田市教頭会（小中学校と県大の連携・交流）9

5) はまだ灯 202010

6) MAKE DREAM 202011

7) NEAR センター市民研究員制度12

8) 講演会講師等・審査会委員等14

**令和2年度 公立大学法人島根県立大学
地域連携推進センター浜田キャンパス運営会議 名簿**

(任期：令和 2. 4. 1～令和 3. 3. 31)

職 名	氏 名	備 考
准教授	西藤 真一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携推進センター副センター長 ・ 連携企画検討会
教授	八田 典子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員(情報発信検討会)
准教授	宮下 聖史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員(連携企画検討会)
准教授	李 憲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員(教育支援検討会)
准教授	村井 重樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員(教育支援検討会)
教授	林 秀司	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバイザー
連携交流課 課長	河部 安男	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員
連携交流課 主任主事	正連山 満	
連携交流課 主事	渡邊 真優	

1) 学生の地域貢献活動

(1) 学生ボランティア活動（災害ボランティア以外）

学生の地域貢献活動のひとつとして地域でのボランティア活動に従事している。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、12月まで活動は制限されていた。

以下活動に参加した学生からの感想や活動の様子等を紹介する。

はまだ地区認知症カフェ「オレンジカフェはまだ」への訪問について

◆オレンジカフェはまだとは

オレンジカフェはまだは認知症の方やそのご家族、お互いの状況が似ている人との出会いや地域の方、ケアマネージャーといった専門職の方など、どなたでも参加でき、垣根を越えて様々な課題を共に語れる場所である。

◆活動報告

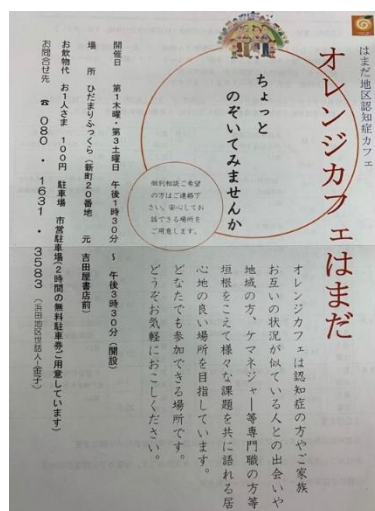
令和2年度中、数回にわたり「オレンジカフェはまだ」を訪問させていただいた。主な目的は、学内の独自制度「しまね地域マイスター」の研究活動の関係である。医療関係を中心に卒業研究に取り組んでおり、認知症診療の事例を把握するために訪問をしようと思ったのが契機である。

まず初めて訪問した日から数か月は認知症診療を経験した方や介護職に携わった方に認知症に関する現状を伺った。また参加者それぞれが近況なども報告し合い、会に参加されている社会人の方との交流も行った。

そして、2021年3月に訪問した際は卒業研究のアンケート調査にもご協力いただき研究に関する知見やデータを得ることにつながった。

この訪問を通して、認知症に関する知見が得られただけでなく地域住民の方とつながりを持つことができた。今後も訪問を通して、会の方との関わりを続けていくつもりである。

(4年生 院内誠春)



ボララボ ～オンライン地連カフェ～の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域活動やサークル活動はもとより、サークルの紹介、勧誘の場を持つ機会が例年に比べ少なかった。特に1年生に関しては、大学でできる様々なボランティア活動についての理解を深めることができていないものと思われる。また、地域サークルへの入部が芳しくないことから今後サークルの存続が難しくなることが危惧される。

そこで、総合政策学部3年生の学生（浦辺太一さん）の発案により、浜田キャンパス地域連携推進センターの主催で、以下のとおり「ボララボ ～オンライン地連カフェ～」が開催された。

◆趣 旨 主に1年生を対象として、平時の大学において想定されるボランティア活動・地域活動について参加団体（以下に記載のサークル）から紹介をしてもらい、地域活動やボランティア活動への理解を深める。

併せて、参加団体のPRの場とする。

◆イベント名 ボララボ ～オンライン地連カフェ～

◆日 時 令和2年6月24日（水）15:00～16:00

◆場 所 オンライン（Microsoft Teamsによる）

◆主 催 浜田キャンパス地域連携推進センター

※発案 総合政策学部3年 浦辺 太一

◆参加団体 4団体

- ・子ども系 BBS サークル
- ・地域系 しまね防犯サークル SCOT
- ・学習支援 あぷりこスクール
- ・国際系 ESS

学生出演団体募集中

新型コロナウイルスの影響で地域活動が自粛されている中ですが島根県立大学で活動が想定されるボランティア活動、地域活動の紹介をおこなう「ボララボ～オンライン地連カフェ～」を開催します。

パソコンやスマートフォンから簡単に参加でき、出入りは自由となります。（申し込みも不要です）ボランティア活動や地域活動に興味のある方は是非ご参加ください。また、地域活動をおこなっている出演者の募集もしています。紹介を希望するサークル・団体等の方はお知らせください。

ボララボ

～オンライン地連カフェ～

2020.6.24(水) 15:00～16:00 ※出入り自由

活動分野

子ども系	地域系	国際系
託児・キャンプ・読み聞かせ等	お祭り・イベント・交遊等	日本語教室・交遊等
環境系	高齢者支援	障がい者支援
学習サポート	地域振興	小・中・高校との交流

参加方法 インターネットがつながっているパソコン・スマホから、右のQRコードを読み取って参加してください。
※参加の際は顔にもならないようにご注意ください。

問い合わせ 連絡先 地域連携推進センター (メディアセンター2F)
0855-24-2396
LINE ID: kendaivo

主催：地域連携推進センター

Microsoft Teams 利用します

2) 地域に関する教育・研究活動

(1) しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会

令和3年2月18日(木)から令和3年2月25日(木)までの期間に開催された、令和2年度「KENDAI縁結びフォーラム」の中のプログラムとして、「しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会」が行われた。従来は対面形式であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの開催とした。

今年度はマイスター課程3期生4名が卒業研究・論文に取り組み、このうち、最優秀賞及び市長賞に「島根県浜田市の運動施設を生かした産業振興～スポーツ合宿誘致に向けた方策～」を研究した大谷明広さんが選ばれた。

なお、卒業研究・論文タイトルは以下のとおり。

氏名 ※五十音順	研究テーマ
大谷 明広	島根県浜田市の運動施設を生かした産業振興 ～スポーツ合宿誘致に向けた方策～
小形 祐貴	浜田市介護事業所における人材確保・定着支援の方策
生越 尚昭	大田市川合町に住む高齢者に対する適切な外出支援の検討
入道 未来	クルーズを活用した中国地方の観光振興

3) 地域から／地域への応援・情報発信

(1) 公開講座

浜田キャンパスでは、地域に開かれた大学として地域の方々の知的好奇心に応えるため、毎年度公開講座を開催している。

表：令和2年度公開講座 受講者数一覧

No.	テーマ カテゴリ	講師	所属	講座名	公開開始日	受講者数
1	学校では教えてくれない 〇〇の世界	陳 幼竹	島根県立大学北東アジア地域研究センター非常勤研 究員	日中における蒙草文化の比較について ～中間性山地を中心に～	1月26日	5
2	聴いて得する！ 大学教員の “ちょっとココだけ” の話	江口 真理子	島根県立大学 浜田キャンパス	英語リスニング学習法	12月21日	60
3		村山 誠	島根県立大学 浜田キャンパス	「課題解決」と「問題解決」について、考えてみましょう！ 第1回 「課題解決と問題解決の違いは？」	12月21日	33
4		村山 誠	島根県立大学 浜田キャンパス	「課題解決」と「問題解決」について、考えてみましょう！ 第2回 「問題解決にCHALLENGE！」	12月21日	26
5		瓜生 忠久	島根県立大学 名誉教授	韓国の映画・ドラマが面白い！ ～コミカルな表現で、現在の韓国社会を鋭く描く秀作が多数公 開～	12月24日	30
6		張 忠任	島根県立大学 浜田キャンパス	太極拳の歴史と流派	1月26日	10

受講者数 計164人（1講座あたり27名）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン（録画配信）で開講した。6講座が本学ホームページ上の専用ページにて公開され、延べ164名（1講座あたり27名）の受講者を得た。講座の開講数が少なかったこともあり、前年度に比べて受講者数は減少したものの、1講座あたりの平均受講者数は増加している（令和元年度：開講回数23回、延べ受講者数562人、1講座あたりの平均受講者数24名）。

最も受講者が多かった講座は、「英語リスニング学習法」で、60名が参加（視聴）した。

講座により公開開始日が異なるが、公開終了日は同日としたため、公開期間の短い講座の受講者数は少ない傾向にある。

(2) 浜田市立三隅中学校へのオンライン版 大学生生活紹介

浜田市立三隅中学校（オンライン）

令和2年12月17日（木）、浜田市立三隅中学校3年生43名と本学学生がオンライン交流をした。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として中学校と大学を中継で繋ぎ交流した。

【学生発表・意見交換（オンライン）】

学生発表では本学4年生の鈴木帆海さんと3年生の岡部瑠海奈さんが中学生に伝えたいことや大学生生活についての話をした。



三隅中学校の生徒からは次のような感想が寄せられた。（原文のまま）

- ・オンライン交流では、楽しく県大生と交流ができました。施設紹介や学科の説明など詳しいところまで学ぶことができました。いろいろな資格をとることも知ることができてよかったです。
- ・大学というのは常に勉強をしているとても堅苦しいところだと思っていました。しかしオンライン交流を通して、大学生活はとても楽しいところだという印象をもちました。サークルにもスポーツ関係のサークルがいろいろあって楽しそうだと思いました。
- ・実際に大学生からオンラインで施設の説明や授業内容や授業スケジュールを聞くことができよかったです。自分が大学に入る時の参考にしたいと思いました。最後にはアドバイスをもらって、改めて勉強の大切さを感じました。

(3) 浜田市立旭中学校の島根県立大学訪問

浜田市立旭中学校

令和2年9月25日(金)、浜田市立旭中学校の3年生11名が浜田キャンパスを訪問し、学生と交流を行った。今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、中学生が3グループに分かれ施設見学をし、大学生による発表も別教室からのオンラインにて実施した。

【学生発表・意見交換（オンライン）】

学生発表では本学4年生の鈴木帆海さんと3年生の岡部瑠海奈さんが中学生に伝えたいことや大学生活についての話をした。



旭中学校の生徒からは次のような感想が寄せられました。(原文のまま)

- ・話の中で「いろいろな世界を知る」というものがありました。楽しそうなことを調べてみるというのは自分の将来に向けてためになると思ったし、自分の世界が広がるのは面白そうなのでこれからは積極的に「調べる」ということをやってみたいと思います。
- ・キャンパス内はとても広く学食も安くておいしくて、いい環境で学習しておられうらやましいと思いました。
- ・僕はまだ高校をはっきりとは決めてないし、高校がどんな風なのかもわかってなかったので大学は早過ぎるのではと考えていましたが、大学に入るために今から意識すべきことがたくさんあることを知り、考え方が変わりました。

(4) 浜田市教頭会（小中学校と県大の連携・交流）

令和2年11月6日（金）に浜田市中心図書館を会場として開催された、浜田市定例教頭会の研修において、連携交流課職員2名と総合政策学部の学生1名が、「島根県立大学（浜田キャンパス）と浜田市小中学校との連携について」をテーマに話をした。

連携交流課からは浜田キャンパスにおける、市内小中学校との連携実績をはじめ、学生ボランティアの種類や活動事例、申し込みから派遣までの流れ等を説明した。また、実際に日頃からボランティアに取り組んでいる学生からは、その活動体験の様子について感想を交えた話をした。

今回のような研修に大学職員や学部生が参加したのは初めてであったが、本学の学生ボランティアの取り組みの理解と、日頃接触の少ない小中学校の現場の先生方と直接に意見交換をする貴重な機会となった。

(5) はまだ灯 2020（令和 2 年 10 月 26 日開催）

浜田市の安全で安心なまちづくりを目指して、浜田市民と島根県立大学生でつくる市民団体「はまだを明るく照らし隊」が主催し、今年も「はまだ灯」が開催された。「はまだ灯」は 2009 年 10 月に当時島根県立大学 1 年生であった平岡都さんの痛ましい事件を契機として、事件の記憶を風化させないことを目的に始まった追悼行事である。事件発生から 11 年目、9 回目の開催となった今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し来訪自粛を求めざるを得なかったが、多くの人が参加できるよう Facebook のライブ配信を行った。当日は、浜田キャンパスの講堂前に 123 個の明かりを灯し、平岡さんへ追悼の意を表した。

【はまだ灯 2020 セレモニー】

本学学長、学生代表、しまね防犯サークルの代表、「はまだを明るく照らし隊」の代表が、平岡都さんへの哀悼の意を込めた花壇（Garden of hope）を背に、挨拶を行ない、安全安心なまちづくりへの思いを述べられた。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来訪の自粛を求め、更にセレモニーは挨拶のみという例年に比べ

規模を縮小しての開催となった。それでも、より多くの方に参加をしてもらい記憶に留めてほしいという思いから、新しい取り組みとして Facebook のライブ配信を行った。また、灯されるキャンドルについても、はまだ灯開催当初に子ども達によって安全安心を願い作られたペットボトルを再使用し、更にキャンドルを水に浮かべるという方法を試みた。キャンドルの灯りが水面に反射し、例年に増して美しく輝いているように感じられた。

これまでの「はまだ灯」の式典の在り方を踏まえつつ、新しいものを取り入れていくことで、事件の記憶を風化させず、将来にわたって、安全で安心なまちづくりへ繋いでいきたい。



総合政策学部 4 年生 小川 直城

(6) MAKE DREAM 2020

2020年12月18日（金）に、本学交流センターコンベンションホールにて本学の学生が浜田の地域資源を活用したビジネスプランを提案する島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM 2020」最終プレゼンテーションが開催された。

「MAKE DREAM」は、地域の企業や行政などに学生の発案する若者ならではの自由な発想を聞いてもらい、新産業や新事業創出の参考にしてもらう「アイデア提供型」の企画であり、今回で10年連続10回目の開催となる。

同コンテストの運営は主催であるはまだ産業振興機構をはじめ、行政、支援機関の幅広い協力を得て行われている。審査にあたっては、久保田章市浜田市長を審査委員長とし、浜田商工会議所、石央商工会、日本政策金融公庫浜田支店、島根県商工会連合会石見事務所といった各協力機関からトップクラスの方々が審査員として参画した。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、一般観覧者の来場を制限し、会場は観客席の間隔を空けるなど様々な感染防止対策を講じた上で開催した。

コンテストには合計19組からの応募があり、書類選考を通過した上位5組が最終プレゼンを実施した（表）。

その結果、3年の中本智美さんが発表した、浜田市産の西城柿、赤梨、ピオーネ、イチジクなどの葉を使った健康増進効果のあるフルーツ茶を製造・販売するプランである「浜田産フルーツ茶の販売」が最優秀賞を受賞した。また、3年の寺原義登さん・坂本翔さんが発表した「サイクルツーリズム×ヘルスツーリズム～浜田を全身で感じるツアー～」が優秀賞、他の3組が奨励賞を受賞した。

また今年度は、実際に地域活動に関わる事業を行っている学生団体「海の家 Re:rie（レリエ）」で代表を務める2年の松本直樹さんの発表も行われた。

表 「MAKE DREAM 2020」最終プレゼンテーション発表者とテーマ（発表順）

氏名	学年	発表テーマ
水田大翔 (奨励賞)	2年	フィギュア用香水～挑戦あるのみ～
寺原義登・坂本翔 (優秀賞)	3年	サイクルツーリズム×ヘルスツーリズム～浜田を全身で感じるツアー～
植田真代 (奨励賞)	3年	浜田産ベビーフード～子どもに優しい地域づくりの第一歩となるように～
中本智美 (最優秀賞)	3年	浜田産フルーツ茶の販売
古柝龍生 (奨励賞)	2年	浜田市のベジタリアン向け観光体験ツアーの推進について

(教授 久保田典男)

(7) NEAR センター市民研究員制度

日本海をはさんで北東アジア地域に接する島根県とその周辺には、さまざまな視点からこの地域に強い興味を抱き、それぞれに知識をたくわえている方がいる。島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）では、日本を含む北東アジア地域の研究に強い興味を持っているキャンパス外の方々に、NEAR センターの市民研究員として共に研究していただく「NEAR センター市民研究員制度」を平成 18 年度に創設した。

市民研究員はNEARセンターに所属し、研究会等への参画を通じて自らの興味関心に基づく研究活動に取り組むほか、研究テーマで意気投合した本学の大学院生と研究計画書を練り上げ、学内審査のうえ研究助成を受けて共同研究を行う等、大学院生の研究に刺激となっている。

また、NEARセンター研究員（本学教員等で構成）は、「NEARセンター・アカデミック・サロン」に登壇し、専門研究分野の最前線を市民研究員向けにわかりやすく解説する等、市民研究員制度を通じた地域への「知」の還元を心がけている。

<令和2年度における成果>

1. 研究会

市民研究員自らの企画により次の研究会を開催した。

○第1回NEARセンター市民研究員研究会

日時：令和2年12月5日（土）13:00～16:00

場所：島根県立大学浜田キャンパス 講義・研究棟1階 大講義室1

内容：第1部

(1) NEAR センター・アカデミック・サロン

- ・NEAR センター研究員・孟達来研究員

「北東アジアの言語：その地域的特徴について
—アルタイ型言語と漢字文化圏を中心に—

(2) 「大学院生と市民研究員の共同研究」中間報告

- ・謝 亜男（大学院生）・福原 彬文（市民研究員）

「中国の協議離婚制度について」（報告者：謝 亜男、福原 彬文）

- ・ナリスゲ（大学院生）・岡崎 秀紀（市民研究員）・若林 一弘（市民研究員）

ア) 「内モンゴル自治区における社会変動とモンゴル語方言の変容について—通遼地域を事例として—」（報告者：ナリスゲ）

イ) 「『内モンゴルの社会変動とモンゴル語方言の変容』～出雲方言の社会的環境：変化と保存に関連して～」（報告者：岡崎 秀紀）

第2部：市民研究員による研究発表

- ・若林 一弘

「クチン（ボルネオ）の日本人墓地」

- ・田中 文也

「疫病と大国主命（医学＋歴史学＋民俗学＋ α ）」、「縄文海進の調査報告第4報（自然科学分野＋ α ）出雲国の猪目洞窟」

2. 研究発表等

市民研究員全体会の一環として毎年度行っている「市民研究員研究発表会及び市民研究員と大学院生の共同研究成果報告会」を次のとおり開催した。

○令和2年度「市民研究員と大学院生の共同研究成果報告/市民研究員による研究発表」

日時：令和3年3月6日（土）13:00～15:30

場所：島根県立大学浜田キャンパス 講義研究棟1階 中講義室3

内容：

第1部：市民研究員と大学院生の共同研究成果報告

- (1) 何 桂蘭（大学院生）・岡崎 秀紀（市民研究員）【2019年度採択】

「中国・内モンゴル自治区興安盟地域におけるトリリング教育に含まれるモンゴル語教育の持つ意義について——特にモンゴル語保持との関連から」

- (2) 謝 亜男（大学院生）・福原 彬文（市民研究員）【2020年度採択】

「『子どもの最善の利益』からみた中国の離婚冷静期制度—日本法への示唆を兼ねて—」

- (3) ナリスゲ（大学院生）・岡崎 秀紀（市民研究員）・若林 一弘（市民研究員）【2020年度採択】

「内モンゴル自治区における社会変動とモンゴル語方言の変容について—シリシゴル地域と通遼地域を事例として—」

第2部：市民研究員による研究発表

- (1) 田中 文也 「『高天原と神々の様相』・・・国譲りの舞台は中海周辺か・・・」

- (2) 岡崎 秀紀 「能海寛研究 25年とキーワード『能海と欧州』—仏人宣教師記録に能海を発見！—」

(8) 講演会講師等・審査会委員等

◇講演会講師等

教員名	依頼元	名称	期間
清原 正義	島根県松江北高等学校 PTA	PTA研修部研修会の講師	R2. 11. 28
清原 正義	島根経済同友会石央支部	島根経済同友会会員 来賓を対象とした講演	R3. 2. 10
江口 真理子	島根県立浜田高等学校	「心と体の健康講座」講師	R2. 11. 12
久保田 典男	法政大学	プロジェクト兼任講師(論文指導)	R2. 4. 1～R3. 3. 31
久保田 典男	島根県立平田高等学校	「地域協働学習」オンライン講義	R2. 9. 16
久保田 典男	島根県立松江農林高等学校	研究についての講義(Web)	R2. 10. 30～R2. 11. 6
金野 和弘	日本海信用金庫	「せがれ塾」第9期生セミナー講師	R2. 12. 4
金野 和弘	大阪市立大学	非常勤講師「データマイニング」	R2. 4. 1～R2. 9. 30
金野 和弘	大阪市立大学	非常勤講師「都市の経済とビジネス」	R2. 10. 1～R3. 3. 31
張 忠任	浜田医療センター附属看護学校	非常勤講師「情報科学演習」	R2. 5. 1～R2. 7. 31
陳 仲奇	浜田医療センター附属看護学校	非常勤講師「倫理学」	R2. 5. 1～R2. 6. 30
ヘネベリー・スティーブン	島根県立石見高等看護学院	非常勤講師「看護英語」	R2. 7. 2～R3. 2. 2
ヘネベリー・スティーブン	国立病院機構浜田医療センター附属看護学校	非常勤講師「英会話」	R2. 5. 1～R3. 3. 31
福原 裕二	広島大学	非常勤講師「戦争と平和に関する学際的研究」	R2. 6. 9～R2. 8. 7
藤原 眞砂	島根県立石見高等看護学院	非常勤講師「社会学」	R2. 9. 4～R3. 10. 9
別枝 行夫	島根県立出雲高等学校	出雲高校PDGzセミナー講師(非常勤)	R3. 3. 10
村山 誠	日本海信用金庫	「せがれ塾」第9期生セミナー講師	R2. 9. 29
岡本 寛	益田市職員労働組合	市民対象の憲法講演会講師	R2. 10. 8～R2. 10. 23
岡本 寛	社会福祉法人 はびねす福祉会	島根要約筆記者養成講習会	R3. 2. 28
西藤 真一	日本海信用金庫	「せがれ塾」第9期生セミナー講師	R2. 10. 22
西藤 真一	関西外国語大学	非常勤講師「エアポート・ビジネス」	R2. 4. 1～R3. 3. 31
豊田 知世	島根県立松江南高等学校	「未来創造リサーチ&アクションプログラム基礎 スタートアップ講座」講師	R2. 6. 23
豊田 知世	日本海信用金庫	「せがれ塾」第9期生セミナー講師	R3. 2. 16
豊田 知世	島根県立松江農林高等学校	松江農林高校総合学科1年生へSDGSIについて講演	R3. 2. 9
鈴木 達也	EBPM研究所	リサーチフェロー	R1. 5. 7～R3. 3. 31
松尾 哲也	北九州市立大学	非常勤講師「現代政治論Ⅰ」	R2夏季
宮下 聖史	長野大学	非常勤講師「地域政策と地域づくり」	R2. 8. 25～R2. 8. 28
今井 靖	島根県教育庁教育指導課	令和2年度高等学校等卒業予定者進路支援対策会議の講師	R2. 6. 16

◇審査会委員等

氏名	発令元	名称	期間	
清原 正義	吉林省翻訳協会	吉林省翻訳協会海外理事	H30. 4. 1	R5. 3. 31
清原 正義	大阪教育大学	大阪教育大学への提言委員会委員	H30. 12. 1	R4. 11. 30
新田 典利	島根県立浜田高等学校	学校評議員	R2. 5. 1	R3. 3. 31
赤坂 一念	島根県 教育委員会	島根県立出雲高等学校SSH運営指導委員会 運営指導委員	H31. 4. 25	R5. 3. 31
赤坂 一念	江津市都市計画課	江津市都市計画審議会非常勤委員	R1. 12. 11	R3. 12. 11
赤坂 一念	社会福祉法人恩賜財団済生会支部島根県済生会	島根県済生会支部理事(非常勤)	R2. 4. 1	R3. 3. 31
赤坂 一念	江津市教育委員会社会教育課	GO▶GOTSUコンソーシアム総役員	R2. 8. 27	
赤坂 一念	江津市	江津市個人情報保護対策審議会非常勤委員	R3. 3. 1	R5. 2. 28
赤坂 一念	江津市	江津市情報公開審査会非常勤委員	R3. 3. 1	R5. 2. 28
井上 厚史	津和野町商工観光課	観光に関する非常勤アドバイザー	R2. 9. 12	R3. 3. 31
岩本 浩史	中国地方整備局道路部地域道路課	中国地方整備局道路協力団体指定委員会	R3. 2. 1	R6. 1. 31
岩本 浩史	大田市役所総務課法令係	大田市情報公開審査委員、個人情報公開審査委員、行政不服審査会委員	H29. 10. 30	R2. 10. 29
岩本 浩史	美郷町	美郷町情報公開審査委員(会長)、美郷町個人情報保護審査委員(会長)、美郷町個人情報保護審議会委員(会長)	H31. 2. 1	R3. 1. 31
岩本 浩史	浜田市	浜田市行政不服審査会委員	H31. 4. 1	R4. 3. 31
岩本 浩史	益田市	益田市個人情報保護運営審議会委員	R1. 10. 2	R3. 10. 1
岩本 浩史	浜田市	浜田市情報公開審査会/浜田市個人情報保護審査会/浜田市個人情報保護審議会	R1. 10. 1	R3. 9. 30
岩本 浩史	浜田市	浜田市公平委員会非常勤委員	R2. 11. 18	R6. 11. 17
岩本 浩史	大田市役所総務課法令係	大田市情報公開審査委員、個人情報公開審査委員、行政不服審査会委員	R2. 10. 30	R5. 10. 29
岩本 浩史	美郷町	美郷町情報公開審査委員(会長)、美郷町個人情報保護審査委員(会長)、美郷町個人情報保護審議会委員(会長)	R3. 2. 20	R5. 2. 19
沖村 理史	島根県	島根県消費生活審議会委員	H30. 7. 1	R2. 6. 30
沖村 理史	島根県	島根県環境審議会委員	H30. 7. 1	R2. 6. 30
川中 淳子	島根県教育委員会	島根県総合教育審議会委員委員	H30. 8. 9	R2. 8. 8
川中 淳子	浜田市	浜田市保健医療福祉協議会非常勤審議委員	R2. 5. 20	R4. 3. 31
岡本 寛	公益財団法人しまね女性センター	公益財団法人しまね女性センターの運営に関する審議を行う非常勤の評議員	H29. 7. 1	R3. 6. 30
岡本 寛	益田市総務部総務管財課	益田市行政情報不服審査会委員	H30. 5. 14	R2. 5. 13
岡本 寛	浜田市	浜田市行政不服審査会委員	H31. 4. 1	R4. 3. 31
岡本 寛	浜田市	浜田市情報公開審査会/浜田市個人情報保護審査会/浜田市個人情報保護審議会	R1. 10. 1	R3. 9. 30
岡本 寛	益田市	益田市行政不服審査会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
岡本 寛	益田市役所総務部管財課	益田市行政情報不服審査会委員	R2. 5. 14	R4. 5. 13
久保田 典男	島根県	島根県芸術文化センター指定管理業務評価委員	H28. 6. 24	R2. 5. 31
久保田 典男	島根県環境生活部文化国際課	島根県芸術文化センター指定管理業務評価委員	R2. 6. 1	R5. 9. 30
久保田 典男	島根県	島根県雇用表彰委員会「しまねいきいき雇用賞」非常勤審議委員	R2. 7. 7	R4. 3. 31
久保田 典男	島根県商工労働部	島根県事業継承施策推進会議アドバイザー	R2. 7. 10	
久保田 典男	江津市政策企画課政策企画係	江津市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会	R2. 11. 16	R4. 10. 30
久保田 典男	大田市産業振興部道の駅推進室	大田市仁摩地区道の駅整備推進委員会 非常勤委員	R3. 2. 1	R4. 3. 31

久保田 典男	中国地方整備局	中国管内の港湾における広域連携BCP検討会の有識者委員	R3. 3. 3	R5. 3. 31
久保田 典男	島根県雇用政策課	島根県雇用対策審議会委員	R1. 11. 1	R3. 10. 31
久保田 典男	浜田市	浜田市指定管理者選定委員会	H30. 7. 9	R2. 7. 10
久保田 典男	浜田市総務部行財政改革推進課	浜田市指定管理者選定委員会 非常勤委員	R2. 8. 25	R4. 8. 24
久保田 典男	江津市役所	江津市まち・ひと・しごと創生総合政策審議会 委員	H30. 7. 1	R2. 6. 30
久保田 典男	中国地方整備局(広島)	中国地方国際物流戦略チームの有識者委員会	R1. 6. 7	R3. 3. 31
久保田 典男	NPO法人石見銀山協働会議	石見銀山基金事業公開審査会等 委員	R1. 6. 1	R4. 3. 31
久保田 典男	(公団)ふるさと島根定住財団	ふるさと島根定住財団 理事(非常勤)	R1. 6. 1	R3. 6. 30
久保田 典男	大田市	大田市総合計画・総合戦略等推進会議委員	R1. 8. 16	R3. 3. 31
久保田 典男	中国地域創造研究センター	調査事業推進委員会 委員	R2. 6. 8	R4. 3. 31
久保田 典男	はまだ産業振興機構	島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM2020」コーディネーター	R2. 6. 15	R3. 3. 31
寺田 哲志	島根県	島根県公共事業再評価委員会委員	R1. 7. 1	R2. 10. 31
八田 典子	島根県教育長文化財課	島根県立古代出雲歴史博物館協議会委員(非常勤)	H30. 7. 21	R2. 7. 20
八田 典子	島根県	しまね景観賞審査委員	H31. 4. 5	R5. 3. 31
八田 典子	浜田市	浜田市景観審議会委員	R1. 5. 1	R3. 4. 30
八田 典子	島根県芸術文化センター	島根県芸術文化センター協議会委員 センター運営に関する審議を行う非常勤の審議委員	R2. 3. 1	R4. 2. 28
八田 典子	島根県教育庁文化財課	島根県古代出雲歴史博物館協議会委員非常勤委員	R2. 7. 21	R4. 7. 20
八田 典子	江津市建設政策課	江津市景観審議会 非常勤委員	R2. 8. 25	R4. 8. 24
林 秀司	島根県 農林水産部農業経営課	島根県中山間地域等振興対策検討会 非常勤の検討委員	H31. 1. 8	R3. 1. 7
林 秀司	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会非常勤委員	R2. 7. 7	R4. 3. 31
林 秀司	島根県	河川整備基本方針及び河川整備計画等について審議する非常勤の審議委員	R2. 3. 30	R4. 3. 31
林 秀司	浜田市地域政策部政策企画課	浜田市総合振興計画審議会委員	R2. 7. 1	R3. 3. 31
林 秀司	益田市	益田市景観審議会 非常勤の審議委員	H31. 4. 26	R3. 3. 31
林 秀司	島根県土木部都市計画課	島根景観審議会委員	R2. 2. 1	R4. 1. 31
林 秀司	(公財)ふるさと島根定住財団	公益財団法人ふるさと島根定住財団評議員	R2. 6. 1	R6. 6. 30
藤原 眞砂	浜田市	第4次浜田市都市計画審議会委員	H30. 9. 1	R4. 8. 31
藤原 眞砂	益田市政策企画局政策企画課	第6次益田市総合振興計画審議会	R2. 2. 1	R3. 3. 31
藤原 眞砂	大田市役所建設部都市計画課	大田市空家対策協議会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
別枝 行夫	浜田市教育委員会	浜田市立図書館協議会非常勤委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
別枝 行夫	浜田市地域政策部まちづくり推進課地域づくり推進係	浜田市坂根正弘奨学金第2次審査に係る採点	R2. 7. 13	R2. 7. 31
光延 忠彦	浜田市	浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会委員	R1. 11. 1	R3. 3. 31
光延 忠彦	島根県選挙管理委員会事務局	島根県明るい選挙推進協議会委員	R2. 3. 15	R3. 5. 31
光延 忠彦	益田市	益田市行財政改革審議会 行政経営に関する審議を行う非常勤の審議委員	R2. 3. 1	R4. 2. 28
光延 忠彦	全国健康保険協会島根支部	全国健康保険協会島根支部評議会評議員(非常勤)	H30. 11. 1	R2. 10. 31
光延 忠彦	浜田市	浜田市行財政改革推進委員会の委員	H31. 3. 1	R3. 2. 28
光延 忠彦	全国健康保険協会島根支部	全国健康保険協会島根支部評議会評議員(非常勤)	R2. 11. 1	R4. 10. 31
小林 明子	浜田市役所人権同和教育啓発センター	浜田市男女共同参画推進委員会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31

金野 和弘	島根県	島根県県民いきいき活動促進委員会委員	H31. 4. 17	R3. 3. 31
金野 和弘	浜田市	浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業先行委員会委員	R1. 8. 24	R3. 3. 31
金野 和弘	浜田市	浜田市まちづくり総合交付金制度改正検討委員会非常勤委員	R2. 5. 12	R3. 3. 31
西藤 真一	一般社団法人浜田市観光協会	浜田市観光戦略構築会議非常勤委員	R2. 12. 7	R4. 3. 31
西藤 真一	浜田市	浜田市ボランティアセンター運営会議	H31. 4. 1	R3. 3. 31
西藤 真一	浜田市	浜田市協議体 第1層委員	R1. 5. 1	R3. 3. 31
西藤 真一	国土交通省	広島空港優先交渉権者選定に係る審査委員会委員	R1. 6. 21	R2. 6. 30
西藤 真一	島根県(土木部道路建設課)	島根県道路懇談会委員	R1. 10. 1	R2. 7. 31
西藤 真一	岡山県	空港づくり基本構想検討委員会 非常勤委員	R2. 3. 27	R3. 3. 31
西藤 真一	島根県土木部道路建設課	島根県道路懇親会 非常勤委員	R2. 8. 1	R2. 10. 31
西藤 真一	川本町	弓市地区魅力化検討委員	H31. 4. 1	R3. 3. 31
鈴木 遵也	浜田市役所上下水道部管理課	浜田市水道事業審議会委員	H31. 4. 1	R3. 3. 31
田中 恭子	島根県土木部用地対策課	島根県事業認定審議会 非常勤審議委員	H29. 9. 20	R2. 9. 19
豊田 知世	(一社)持続可能な地域社会総合研究所	阿武町「地元学&21世紀の石高調査」共同研究者(非常勤)	R2. 8. 1	R3. 3. 31
豊田 知世	日本学術会議事務局	環境学委員会環境思想・環境教育分科会環境教育の思想的アプローチ検討小委員会委員	H30. 6. 28	R2. 9. 30
豊田 知世	島根県	島根県固定資産評価審議会委員(非常勤)	H30. 12. 15	R2. 12. 14
豊田 知世	浜田市	浜田市行財政改革推進委員会委員	H31. 3. 1	R3. 2. 28
豊田 知世	島根県 環境生活部環境政策課	しまね環境アドバイザー	H31. 4. 1	R3. 3. 31
豊田 知世	島根県土木部都市計画課	島根県都市計画審議会	R2. 2. 1	R4. 1. 31
豊田 知世	浜田市役所上下水道部管理課	浜田市水道事業審議会委員	H31. 4. 1	R3. 3. 31
豊田 知世	浜田市市民生活部環境課	浜田市環境清掃対策審議会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
豊田 知世	島根県中山間地域研究センター	島根県中山間地域研究センター運営協議会委員	R2. 2. 26	R3. 3. 31
豊田 知世	大田市	大田市公共施設適正化推進委員会 非常勤委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
豊田 知世	浜田市	浜田市指定管理者選定委員会非常勤委員	R2. 5. 8	R2. 7. 16
豊田 知世	浜田市地球温暖化対策地域協議会	浜田市地球温暖化対策地域協議会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
豊田 知世	はまだ産業振興機構	島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM2020」2次審査員	R2. 12. 18	
豊田 知世	島根県政策企画局広聴広報課	令和2年度「しまねのイメージ」発信業務提案競技審査委員会の委員	R2. 10. 8	R2. 10. 12
豊田 知世	島根県税務課	島根県固定資産評価審議会委員(非常勤)	R2. 12. 15	R4. 12. 14
豊田 知世	浜田市	浜田市再犯防止推進計画策定専門部会非常勤委員	R3. 2. 22	R4. 3. 31
豊田 知世	(一社)持続可能な地域社会総合研究所	地域経済循環研究プロジェクト共同研究者(非常勤)	R2. 7. 20	R3. 3. 31
濱田 泰弘	浜田市市民生活部環境課	浜田市環境審議会委員	R2. 4. 1	R4. 3. 31
福原 裕二	北海道大学スラブ・ユーラシア研究C長	北海道大学スラブ・ユーラシア研究C境界研究共同研究員	R2. 3. 31	R4. 3. 31
松田 善臣	江津市 商工観光課	江津市地域公共交通会議委員	R2. 4. 1	R3. 3. 31
村井 重樹	島根県商工労働部	島根県商工労働部指定管理業務評価非常勤委員	R2. 7. 1	R5. 3. 31
田中 恭子	島根県立益田高等学校	益田高校魅力化部会外部委員	R2. 4. 1	R3. 3. 31
田中 恭子	浜田市地域政策部政策企画課	浜田市総合振興計画審議会委員	R2. 7. 1	R3. 3. 31
姜 英淑	人間文化研究機構 国立国語研究所	国立国語研究所共同研究PJ「対象言語学の観点から見た日本語の音声と文法」へ共同研究員として参画	R2. 4. 1	R3. 3. 31

李 憲	島根県	島根県消費生活審議会委員	H30. 7. 27	R4. 7. 26
石倉 義生	はまだ産業振興機構	島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM2020」学内調整	R2. 6. 15	R3. 3. 31
河部 安男	公益財団法人しまね女性センター	非常勤の理事	R1. 6. 1	R3. 6. 30
河部 安男	はまだ産業振興機構	島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM2020」1次審査員	R2. 10. 21	

令和2年度 地域連携活動報告書（浜田キャンパス版）

編集・発行

島根県立大学 浜田キャンパス地域連携推進委員会（連携交流課）

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

TEL：0855-25-9063 FAX：0855-24-2387

E-mail：h-renkei@u-shimane.ac.jp



マスコットキャラクター
「オロリン」



The University of Shimane